

行ってみんなね、来てみんなね ⑧5

日本の近代西洋医学教育ここに始まる

長崎（小島）養生所跡資料館

長崎市文化財課 倉田 法子

令和2年4月6日、わが国最初の近代西洋式病院である小島養生所の跡地に「長崎（小島）養生所跡資料館」が新たに開館しました。資料館は、長崎市西小島の小高い丘に位置し、市立仁田佐古小学校に併設されています。敷



地からは、小学校建設に伴う発掘調査により、養生所に関する遺構などが発見され、平成29年（2017年）長崎市史跡に指定されました。養生所は、長崎海軍伝習所の医官として来日したオランダ軍医ポ

ンペの病院建設の願いが幕府に聞き届けられ、文久元年（1861年）に開設されました。ポンペは、松本良順の協力を得て、自然科学を基礎とした体系的な近代医学教育を日本の医学生たちに行い、養生所の完成後は、患者の治療や臨床講義も行いました。この地で学んだ多くの人々が、日本の近代医学・医療の発展に大きく貢献しました。

資料館では、養生所の基礎遺構の露出展示をはじめ、薬瓶などの出土遺物、ポンペが医学教育に用いた紙製人体模型の複製資料などを展示しています。また、ミニドラマやVR映像で、ポンペの功績や、当時の様子を紹介するなど、養生所の歴史的な価値を発信しています。



先生（資料館キャラクター）  
ポンペ

【住所】長崎市西小島



1丁目8番15号（長崎市立仁田佐古小学校体育館横）  
【開館時間】9時～17時  
【休館日】毎週月曜日、年末年始  
【入館料】無料  
※施設に専用駐車場はありません。